



新しい朝

府中市立府中第十中学校
学校だより No.1
校長 芹澤 敏光

ごあいさつ

校長 芹澤 敏光

この度4月1日付で、前任の竹内康裕校長先生に代わり、東村山第五中学校副校長より昇任して着任をいたしました校長の芹澤^{せりさわとしみつ}敏光と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。今年度のスタートは例年とは大きく違う形となりましたことを、まずお詫び申し上げるとともに、皆様のご理解・ご協力を感謝申し上げます。

今年度本校は、創立40周年記念式典を控えておりますが、伝統ある府中第十中学校の歩みに新たな1ページを加えられることを非常に嬉しく思っています。着任をして早速、地域の方とお話をさせていただく機会がありましたが、地域の中で支えられて温かく見守っていただいている様子をひしひしと感じました。その地域の期待、保護者の願い、そして何より子供たちの成長のために教職員一同全力で教育活動を進めてまいります。どうぞご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

新年度がスタートしましたが、子供たちの笑顔、学習に取り組む真剣な眼差し、はつらつと運動を行う姿が見られないのはやはり非常にさみしいものです。通常の状態に戻りましたら、この期間の分も挽回するように取り組んでまいります。重ねてご理解、ご協力をお願いいたします。

入学式も中止とさせていただきましたが、以下に入学式で予定していた式辞と、始業式に2・3年生向けに伝えた話しを紹介いたします。

<入学式式辞より>

新入生のみなさん、保護者の皆様、本日は府中第十中学校へのご入学誠におめでとうございます。本日ここに、第41回入学式を挙行できますことをとてもうれしく思っています。例年とは違う入学式の形となりましたが、保護者の皆様のご協力にまず感謝申し上げます。違う形とはいえ、新入生のみなさんが本日入学したことの大切な意味は何ら変わることはありません。本校の教職員・上級生一同、例年にも増して祝福の気持ちを一杯に、みなさんの入学を心待ちにしていました。

さて本校では、めざす生徒像、つまり第十中学校での生活の中でこんな生徒になってほしいということを五つの点にまとめています。それは、「十中生であることを誇りに思える生徒」、「まじめさや正義を大切にできる生徒」、「将来に夢を描き、努力できる生徒」、「意欲的・積極的に取り組む生徒」、「友達と分かち合い、支え合える生徒」この五つです。どれも中学校生活の中では大切なことですが、入学にあたりこの中から二つのことについてお話ししたいと思います。

一つ目は、「まじめさや正義を大切にできる生徒」についてです。物事に誠意をもって努力する、

努力ができるということは非常に尊いことです。特に中学校では、先生に頼らず、自分たちで考え、計画し、実行することが多くなります。時には厳しく大変なこともあります。目標をもって地道にコツコツと頑張りぬくことで、素晴らしい感動や喜びが待っています。一生懸命やってよかったという思いを、ぜひみなさんにたくさん感じてもらいたいと思います。また、一人一人に正義ということがしっかりと心に刻まれていれば、学校の中で起こりがちないじめの問題や、心ない言動によって心を痛める生徒が出てしまうことも絶対に起こるはずがありません。いいことはいい、悪いことは悪い、ダメなものはダメということが当たり前に自然と感じられるようであればなりません。努力と正義は必ず実を結びます。みなさんの中学校生活、そしてその後の人生においても、必ず心を豊かにしてくれるはずです。

二つ目は、「友達と分かち合い、支え合える生徒」についてです。人間は決して一人では生きていくことができません。生まれてから亡くなるまで、何らかの形で人との関わりの中で生活することになります。中学校の中ではそれが友人関係という形であらわれます。

ですからいい友人関係をつくってください。中学校生活の3年間は、決してうれしいこと、楽しいことばかりではなく、悲しいこと、つらいこと、苦しいこと、残念なこと、思うようにいかないことなどが必ずあります。そのようなときにその感情を分かち合ったり、支えとなったり、乗り越える糧となるのは友人の存在です。中学校時代に形作られた友人関係は、みなさんの将来にわたる人生を左右する、一生の付き合いになるかもしれません。人と人とのつながり、人間関係は、目に見えない貴重な財産となります。

保護者の皆様、改めまして、お子様のご入学誠にありがとうございます。わたくしも今年度の本校の新入生となります。前任の竹内校長先生からは、第十中学校の生徒たちは、非常に落ち着いた雰囲気の中で、生き生きと勉強に運動に励んでいるとお聞きしています。これも常日頃からの保護者の皆様と地域の方々の温かい目とご協力の賜物であり、学校、家庭、地域との連携による、伝統に基づいた教育活動の基礎ができていく証しにほかなりません。今後とも、一人一人の生徒を大切にしたい教育活動に、教職員一同誠実に取り組んでまいります。お子様一人一人の夢の実現のため、これからの3年間、ともに手を携えながら、子どもたちの成長を支えていくためのご協力をよろしくお願いいたします。

現在のところ、通常の教育活動が再開されるまでしばらく時間を必要とする状況ではありますが、重ねてご理解、ご協力をお願い申し上げます。本日入学した98名の新入生の皆さんが、この第十中学校の3年間の生活の中で、将来へ向けて素晴らしい夢を描き、その実現に向けて学校全体で、全力で取り組んでいくことを心に期して、式辞といたします。

<始業式講話より>

2年生、3年生のみなさん進級おめでとうございます。昨年度までの竹内校長先生に代わって、今年度校長として着任した芹澤敏光です。よろしくお願いいたします。新年度の始業式にあたり、直接みなさんの前であいさつができないことを非常に残念に思いますが、現在の社会全体の状況を鑑みると仕方がありません。次の機会を楽しみにしています。

新年度のスタートにあたり、一つだけみなさんにお話しします。現在新型コロナウイルスの感染症対策が、日本だけでなく、世界を揺るがす大きな問題となっています。本校でも来月のゴールデンウィーク明けまで再び臨時休校となります。マスク等でも連日広く呼びかけが行われていますが、ちょっとだけならいいだろう、自分だけなら大丈夫だろうというような考えは絶対に慎んでほしいのはもちろんですが、このようなときだからこそ、ピンチをチャンスに代えてほしいということです。気持ちの切り替えがうまくいかないことがあるのは当然ですが、何か自分でできることを工夫したり、それを意欲的に取り組んだりしてください。新年度の授業を迎える前に苦手教科の勉強に集中的に取り組むのもいいでしょうし、読書の時間を普段にも増して、具体的な数の目標を決めて本を読み漁るのもいいでしょう。自分の考え一つでいろいろできるはずです。困難な場面でも、一步一步着実に成長を続けることができる人は、時間を効果的に使うことができる人です。みなさんの取組に期待します。

それでは臨時休校明けに、学校全体でみなさんと顔合わせできることを楽しみにしています。

教職員の異動

《 転出・退職 》

竹内 康裕	校長		八王子市立第五中学校	へ
坂本 生輝	教諭	(社会)	日ノ出町立平井中学校	へ
寒河江 昭仁	主幹教諭	(保健体育)	退職	
上田 和子	主任教諭	(国語)	退職	(本校非常勤教諭)
江里 美恵子	教諭	(数学)	退職	
池田 哲	教諭	(理科)	育児休業	

《 着任 》

芹澤 敏光	校長		東村山市立東村山第五中学校から
会田 雅仁	主幹教諭	(数学)	八王子市立甲ノ原中学校 から
古森 美沙	主任教諭	(国語)	杉並区立高井戸中学校から
益井 正貴	教諭	(保健体育)	町田市立町田第二中学校 から
大塚 浩人	育休代替	(理科)	



令和2年度 府中第十中学校 教職員紹介

校長 芹澤 敏光
 副校長 山田 任代
 主幹教諭 平田 学 永瀧 照一 会田 雅仁
 教務主任 平田 学 生活指導主任 会田 雅仁 進路指導主任 上柳 明夫
 第一学年主任 田村 恵 第二学年主任 岸 正太郎 第三学年主任 永瀧 照一
 研究主任 石塚 紀子 保健主任 村田 未央 給食主任 榎本 恵子
 特別支援コーディネーター 村田 未央 特別支援教育専門員 柴内 織会
 都事務職員 高田 敬子 市事務職員 須田佐和子 市用務員 小菅浩一郎
 スクールカウンセラー(SC) 小松 あかね(勤務日:火曜日)
 校務改善支援員 松本 玲子

◎学年所属 担任 副担任・学年付

全校生徒 294 名	第1学年(3学級 98名)	第2学年(3学級 110名)	第3学年(3学級 86名)
1組 担任	田村 恵 (保体)	石塚 紀子 (音楽)	上柳 明夫 (美術)
2組 担任	会田 雅仁 (数学)	益井 正貴 (保体)	中村 光 (技術)
3組 担任	古森 美沙 (国語)	影山 泰明 (数学)	森 奈津子 (社会)
副担任・学年付	榎本 恵子 (英語) 大塚 浩人 (理科) 笹本 要市 (社会) 村田 未央 (養護教諭)	岸 正太郎 (理科) 小埜 聡子 (英語) 上田 和子 (国語)	永瀧 照一 (国語) 平田 学 (数学) 筋 賞子 (英語)